

平成26年度施策評価調書

整理番号	7
評価担当課	健康福祉部社会福祉課

1 施策の名称等

施策名(基本事業)	ノーマライゼーション思想の普及(2-6-1)		
総合計画の位置づけ	基本目標	2	安心して健やかに暮らせるまちづくり
	主要施策	6	障がい者福祉の推進

2 施策の現状分析と意図

施策の対象、意図(誰、何をどのようにしたいのか)	障がい者の地域行事などへの社会参加を促進し、障がいのある人とない人とが相互に交流を深め、ノーマライゼーションの理念や障がい者に対する理解の啓発に努める。
施策の現状(現状どのような手段を講じているか)	ノーマライゼーションの普及を目的にした「ふれあい広場」を開催などを通じた、障がい者に対する理解啓発や、各種行事に手話通訳や要約筆記の派遣を行い、障がい者の社会参加を進める。
施策の課題	障がいのある人の社会参加を促進していくためには、さらなる情報提供や参加しやすい環境づくりが必要になります。

3 成果指標の達成状況

成果指標	指標の説明	区分	H23	H24	H25	目標年度(年度)
ふれあい広場の定期開催	参加人数	目標値	-	-	-	
		実績値	3,300	3,000	3,000	
		進捗率				
聴覚障害者協力員派遣事業	聴覚障害者協力員を派遣した延べ時間	目標値	-	-	-	
		実績値	258	218	262	
		進捗率				
手話奉仕員養成事業	受講人数	目標値				
		実績値	17	10	11	
		進捗率				
手話奉仕員研修事業	受講人数	目標値				
		実績値	7	6	7	
		進捗率				
要約筆記奉仕員養成事業	受講人数	目標値				
		実績値	3	3	0	
		進捗率				

4 施策の達成状況

施策の達成度	理由・問題点等	評価基準
A	ふれあい広場を継続的に開催や手話通訳・要約筆記の養成により、市民の障がい者に対する理解や障がい者の社会参加が図られており、概ね順調に推移している。	A:計画目標に向けて順調に推移 B:計画目標に向かって概ね順調 C:計画目標に向けて進捗はやや遅れている D:計画目標に向け進捗は遅れている

5 今後の方向性

今後も障がい者の社会参加や市民の理解を図るためにも事業を継続していく。

6 ワーキンググループの意見等

1次評価のとおり

7 外部評価の意見等

—

8 2次評価の意見等

1次評価のとおり

9 施策を構成する事務事業

(1)H25年度実施事業

事業 番号	事務事業名	事業の概要	H25決算額	1次評価						外部 評価	2次 評価
				妥当性	有効性	効率性	公平性	達成度	評価		

(2)その他の取組(既に終了した事業や予算を伴わない取組等(1)以外の取組を記入してください。)